

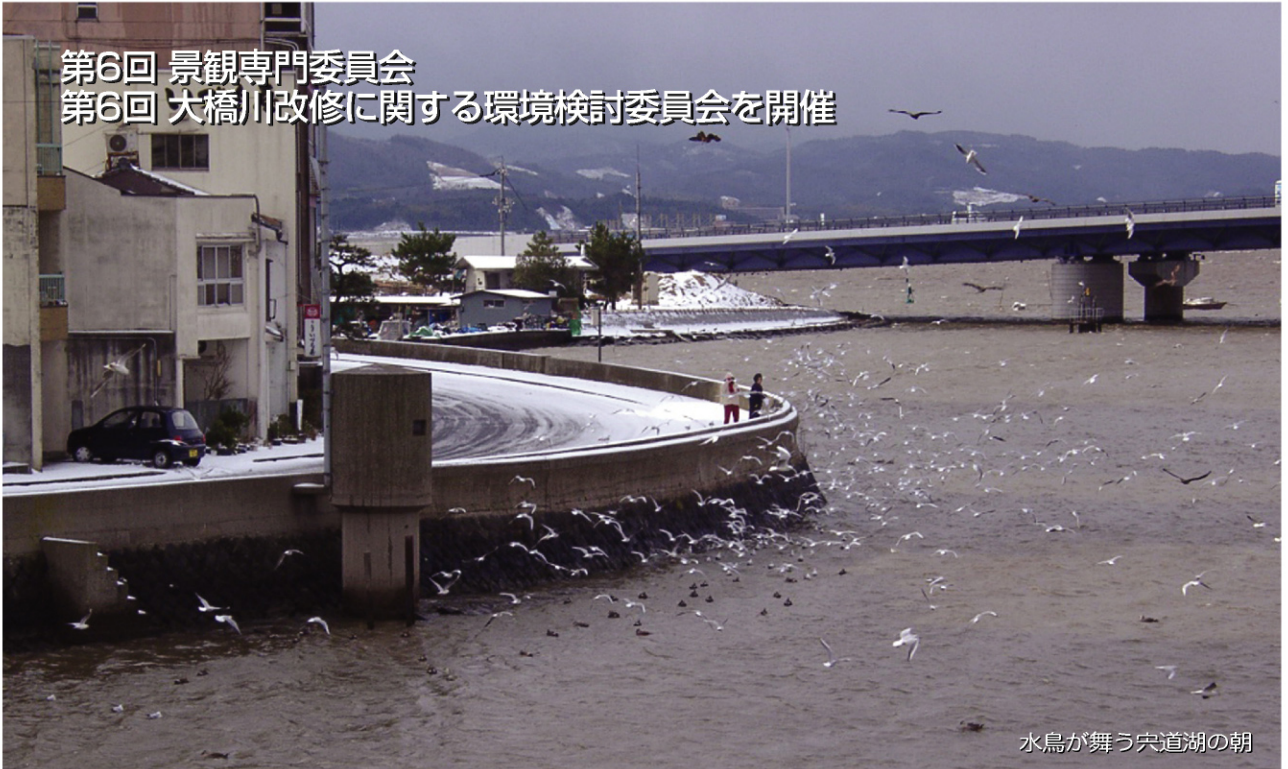
大橋川通信



2007.02
第17号

刊行/
大橋川コミュニティセンター

第6回 景観専門委員会 第6回 大橋川改修に関する環境検討委員会を開催



水鳥が舞う穴道湖の朝



第6回「景観専門委員会」の様子

「大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)の策定」を受け景観形成に関する基本計画を検討

景観専門委員会を開催

景観に関する事項について専門的・技術的な助言を頂く、第6回景観専門委員会が2月11日(月)に松江テルサで開催されました。

大橋川周辺まちづくり検討委員会において委員会主導でとりまとめられた「大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)」が松江市・島根県・国土交通省出雲河川事務所に提案されたことを受け、景観専門委員会では、次の段階である「大橋川沿川の景観形成に関する基本計画(案)」の検討が始められました。

景観専門委員会では、今後、平成18年10月に国土交通省河川局が発表した「河川景観の形成と保全の考え方」や、景観評価システムである「景観アセスメント」の流れを参考に、大橋川周辺まちづくり検討委員会への報告・確認を行いながら検討していくことが確認されました。

基本計画(案)検討の初回となる今回は、景観形成の理想像が検討されました。河川内の景観形成や沿川との関係などについて、多様な角度の意見が述べられました。

大橋川改修に関する環境検討委員会を開催

中海・穴道湖の環境に関する各分野の学識経験者などから、技術的助言・指導を頂く「大橋川改修に関する環境検討委員会」が12月20日(水)に松江テルサで開催されました。

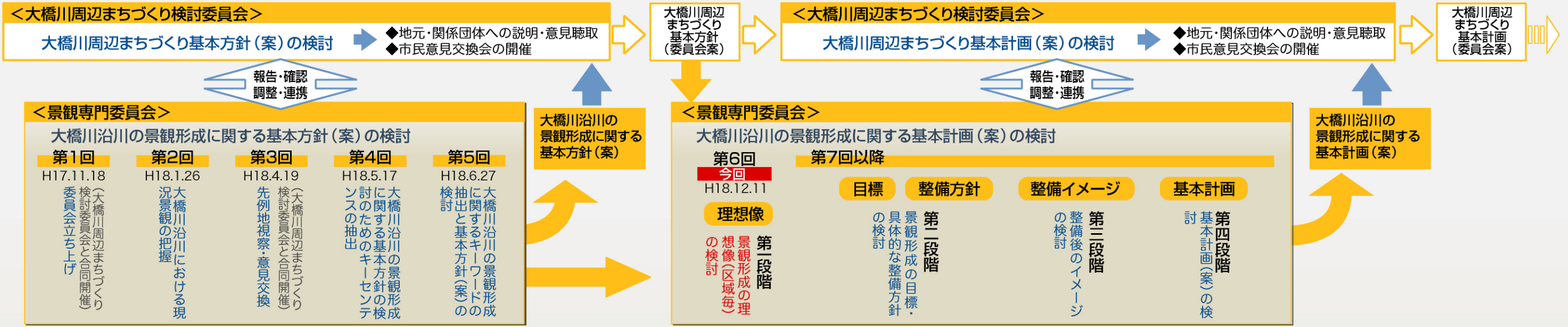
委員会では、水質シミュレーションについての検討や、現在実施している「環境調査」の経過報告が行われた他、大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)の説明も行われました。

過去の資料の問い合わせ先

【大橋川「コミュニティセンター」】

ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.nabe.ne.jp/~comisen>

景観専門委員会の進め方を整理しました。また、今後も大橋川周辺まちづくり検討委員会への報告・確認を行い、調整・連携をはかりつつ進めていきます。



4つの視点から理想像を検討

景観形成の理想像(区域毎)の検討

理想像を検討する上で、「河川内の景観形成」、「川の景観を楽しむ場の形成」「川と沿川地域の関係性の向上」「沿川地域の景観形成」の大きく4つの視点でキーワードを整理しました。

区分・凡例	1.河川内の景観形成	2.川の景観を楽しむ場の形成	3.川と沿川地域の関係性の向上	4.沿川地域の景観形成
範囲・項目	◇護岸や堤防 ◇低水敷 ◇橋梁・水門等の構造物	◇河川占用物 ◇植栽 ◇親水拠点 ◇眺望の確保	◇川とまちの境界域	◇沿川建築物 ◇野外広告物
検討内容	●周辺環境との調和を考慮した護岸や堤防等のデザイン・素材・植栽のあり方	●川の景観を楽しむ場の形成としての拠点整備のあり方 ●眺望の確保への配慮	●川と沿川地域の関係の維持・向上のあり方	●川からみたまちの姿

■ 鴨川(京都市)を事例にした場合



景観専門委員会での主な意見 景観形成の理想像(区域毎)について検討



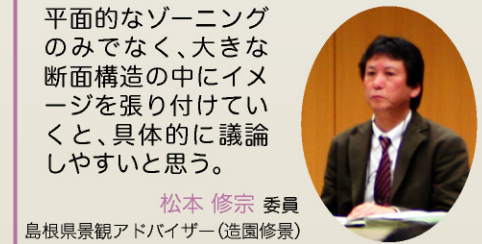
藤岡 大拙 委員
島根女子短期大学名誉教授

図面を見てイメージが浮かぶ人とそうでない人がいると思う。模式図やスケッチでもかまわないので、具体的なイメージが浮かぶ図を示して欲しい。



布野 修司 委員長
滋賀県立大学環境科学部教授

スケール感が分かるような大きな模型を用意して頂けると嬉しい。どこを議論するのか具体的なものが見えると良い。



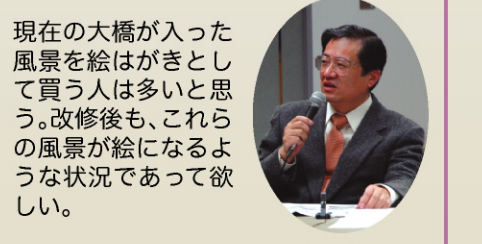
松本 修宗 委員
島根県景観アドバイザー(造園修景)

平面的なゾーニングのみでなく、大きな断面構造の中にイメージを張り付けていくと、具体的に議論しやすいと思う。



藤田 光一 委員
国土技術政策総合研究所河川環境研究室長

景観専門委員会とはいいながら、川づくりやまちづくりを無視することは出来ない。景観、治水、生態系といった全ての要素を集約して結果を出すためには、動かせる場所、動かせない場所、またそれは何故かといったことを、大変だけれども、毎回きちんと整理しながら進めていく必要があると感じている。



島根県景観アドバイザー(土木) 吉田 薫 委員

現在の大橋が入った風景を絵はがきとして買う人は多いと思う。改修後も、これらの風景が絵になるような状況であって欲しい。

第6回 景観専門委員会



大橋川改修が与える環境変化について、水環境や動植物の生息・生育環境などについて科学的データと専門的知識に基づいた客観的な評価を行うため、中海・宍道湖の環境に関する各分野の学識経験者などから技術的助言・指導を頂く「大橋川改修に関する環境検討委員会」を設立しています。

第6回

大橋川改修に関する環境検討委員会

議事概要

◆水質のシミュレーションについて

～水質予測モデルの妥当性を検討～

窒素の再現性について、妥当性の低いところがあるように感じるため、もう少し精査して欲しいといった意見が述べられました。

◆環境調査の経過報告について

～現在調査中の途中経過を報告～

生態系の調査について、大橋川湿性地内での検討を含めることといった意見が述べられました。

◆大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)について

～大橋川周辺まちづくり検討委員会より説明～

大橋川周辺まちづくり検討委員会の島田雅治委員長(島根大学名誉教授)から、大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)の説明を受けました。



挨拶をする 道上 委員長

委員の紹介

敬称略五十音順

相崎守弘	島根大学生物資源科学部教授
岡田昭明	鳥取大学地域学部長
國井秀伸	島根大学汽水域研究センター長
越川敏樹	島根野生生物研究会
佐藤仁志	島根野生生物研究会
島谷幸宏	九州大学大学院工学研究院教授
清家 泰	島根大学総合理工学部物質科学科助教授
高安克己	島根大学副学長
竹中 稔	日本野鳥の会鳥取県支部理事
田中宏明	京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター教授
鶴崎展巨	鳥取大学地域学部地域環境学科教授
中村幹雄	NPO島根県在来魚保護協会専務理事
福岡捷二	中央大学研究開発機構教授
細井由彦	鳥取大学工学部社会開発システム工学科教授
委員長 道上正規	鳥取大学名誉教授



大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)を説明(大橋川周辺まちづくり検討委員会)島田雅治委員長

大橋川コミュニティセンター

【開館日】年中無休(年末年始除く) 【開館時間】9:30～16:00 【駐車場】5台程度
 〒690-0841 松江市向島町134-4
 TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623
 E-mail:comisen@mable.ne.jp
 ホームページ: <http://www.mable.ne.jp/~comisen>



*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。

